

花だより

社会福祉法人 花

生活介護 でい工房花はな
共同生活援助 ホーム花（桜の家・風の家）
短期入所事業所 ショートさくら

〒259-1201 神奈川県平塚市南金目 346-1

TEL 0463 (50) 3080

FAX 0463 (58) 8798

発行人 村上 結

<http://www.hiratsuka-hana.or.jp/>

…10年以上前、カールラジオ（何と古い言葉）で聞いていた放送大学の講座に「社会幸福論」というものがありました。それはとても印象深く、いまでも最後の講義を記憶しています。各分野の専門家が、各々講義をする形式で進んだ最終回に、全ての講師が集まりました。そこで司会が各講師に向かい「最後にみなさん、キーワードを一言ずつお願いします。幸福な社会にするためには」と言いました。一人ひとりの講師が、短いけれど少々難解な話をされていたと思います。そして、最後の一人が「傾聴」「ひとの幸福感、何かを伝える時ではなく、何か伝える時に高まる」と言いました。その瞬間、「ひとの幸福感、何か伝える時に高まる」という言葉が、わたしの心に高まる…」

ひとが集まる場所には目的があります。それは助け合って、一人ひとりみんなが幸せになることです…

「家族社会学」より



小さな幸福追求集団

花

新理事長 村上 結



にストンと入ってきました。

みんなの声が聞こえて、自分の声や話しを聴いてくれる人がいる。困ったときには、寄り添い・共に考え・助けてくれる人がいる。そして誰もが、いつまでも、安心感を持てる。「花」はそんな場所でありたいと思います。

これまで、近づく事も恐れ多いと感じていた先輩方に見守られての仕事となります。身の引き締まる思いの中、次の3つを心にとめスタートいたします。

■情報収集（いまを知るために）

利用者およびご家族、ご支援くださる方々、そして職員、一人ひとりのお話を聞いてねいに伺い、その一つひとつの背景へと思いを致す。（100人いれば100通りある希望や理想を大切に、最善の現実解を追求する…）

■知識集積（これからを考えるために）

日々更新される情報に対応した知識の新陳代謝を図り、必要な情報・知識を共有する。そして、「花」にとって大切な知識の普遍化（一般化）を進める。

（原点は、平成26年9月26日の社会福祉法人設立申請時にある…）

■ひと（元気でまた明日と、お互いに笑顔で言うために）

「花」に関わる誰もが幸福感を得られるように、あいさつと笑顔のあふれる環境を大切に、常に感謝の気持ちを忘れない集団として成長する。

「花」は単なる居場所ではなく、みんなの大切な共有地として存在し主役は利用者である…）



ひとはきつと死ぬまで中継ぎ投手だと思えます。平塚養護、小田原養護、平塚盲の校長職を終え、今回人生最後のマウンドとなります。与えていただいたインングの一球一球を大切にしたいと参ります…。日頃より「花」を見守り育ててくださる皆さま、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。